

2021年8月10日更新

2022年度

# 学校推薦型選抜（公募制）要項

学芸学部 多文化・国際協力学科

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2021年6月に掲出した入試要項の内容から変更した箇所は赤字で表示しております。今後、入試要項の記載内容を変更する場合は、本学公式Webサイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) にてお知らせします。随時ご確認ください。



津田塾大学

TSUDA UNIVERSITY

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 津田塾大学が求める学生および津田塾大学の理念

津田塾大学は、深い知性と豊かな人間性を兼ね備え、自立して社会に貢献できる「オールラウンドな女性」の育成を目指しています。創立以来、幅広く確かな教養に裏打ちされた知見と実践力をもって、リーダーシップを発揮できる女性を輩出してきました。本学では、このような建学の理念に共感し、世界のさまざまな問題に関心を持ち、主体的に学ぼうとするバイタリティ溢れる学生を求めています。

### 学芸学部

学芸学部が求めているのは、さまざまな問題に取り組むために必要な知識と思考力を持ち、自分の考えを自分の言葉で的確に表現できる創造性に富む学生です。

学芸学部では、人間としてより自由に生きるための学問、学生一人ひとりの個性と自主性の尊重をその教育理念の根幹に据えています。男女共同参画が求められる時代において、多様でグローバルな課題に対してイニシアチブを発揮しつつ、地域社会と国際社会の双方で貢献できる女性を求めます。

### 多文化・国際協力学科

多文化・国際協力学科では、新しい局面を迎えた国内外のさまざまな問題に対し、現状分析を踏まえ、当事者意識と強い責任感をもった「真の貢献」ができる女性の育成を目指しています。社会構造や文化の違いが引き起こしている問題、国際協力・国際援助が抱える問題等、現代社会において解決すべき問題は多種多様です。これらの問題に対し、1年次の基礎セミナーを経て、2年次からのフィールドワークや密度の濃い3年間のセミナー活動をとおして培われた高度の専門知識と分析力を駆使しながら、よりよい「共生型」社会の実現に向けての新しいアプローチを提案できるようになることを重視し、そのような力を伸ばしたい学生を求めています。

#### <知識・理解>

世界の現場で起きていることへの理解の基礎となる「世界史」、歴史を踏まえたフィールド理解のための「日本史」、論理的な力をつけるための「数学」などの十分な理解が重要となります。

#### <技能・表現>

様々な問題に対処するために、的確にそして深く読み、自らの言葉で書き、表現し、対話するために「国語」の力は必須です。津田塾の伝統ある高レベルの英語教育を受けていくためには、高校までにしっかり基礎の「英語」力をつけておくことが重要です。

#### <関心・意欲・態度>

「それぞれの場でどのようにあるべきか」という当事者意識と責任感の強さを持ち、変革を担うことに意欲があること、本を読む習慣が身についていること、深く思考する態度、異なる経験への開かれた態度などが望まれます。

## 学校推薦型選抜（公募制）について

### — 開かれた思考と行動力 —

国内外の状況は新しい局面を迎えています。多文化・国際協力量科では国内外の様々な問題に対し、現状分析を踏まえ、当事者意識と強い責任感を持って問題解決にあたる女性の育成を目指しています。

本学科では、自らのテーマを掲げ、そのテーマに関するフィールドワークを行い、卒業論文を書くことを学びの中心としています。フィールドワークは教員引率で行われるのではなく、テーマにしたがって各自が個別に行います。現在課題となっていることの中から目的意識を持って自分でテーマを探し、自らフィールドワークの計画を立て、現地に赴きます。そして、そこで収集した資料と先行研究を分析しながら卒業論文を書き上げます。

学校推薦型選抜（公募制）では、このような本学科の特徴に興味を持ち、そのようなスタイルでの学びに意欲がある受験生を期待します。書類選考（第一次選考：志望理由書、英語の能力を証明する書類、調査書、推薦書など）、小論文と面接（第二次選考）をとおして、受験生の力をみていきます。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、2022年度は、本学小平キャンパスで実施する予定だった学校推薦型選抜（公募制）の「小論文」を中止いたします。面接はオンラインで実施し、口頭試問を行います。

## 入試日程

出願期間	2021年11月1日(月)～11月8日(月) (消印有効)	入学検定料を振り込み、出願書類を郵送してください。 提出書類による選考を行います。
第1次選考(書類選考) 結果発表	2021年11月19日(金)	郵送で通知します。
第2次選考 試験日	2021年11月27日(土)	オンラインで実施します。
合格発表日	2021年12月7日(火)	郵送(速達)で通知します。 合格者には入学手続書類を同封します。
入学手続締切日	2021年12月20日(月) (消印有効)	締切日までに入学申込金(入学金相当額)、学費その他の納入金を納入し、入学手続書類を提出してください。

※第2次選考をオンラインで実施するにあたり、事前に通信環境確認のための通信テストを行います。  
通信テスト実施日は11月23日(火・祝)です。詳細は個別に通知いたします。

## 多文化・国際協力量科 学校推薦型選抜（公募制）について

高等学校長、担任教員、教育機関関係者の推薦を受けた現役生、既卒生、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者を対象とし、書類および小論文、面接で選考します。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、2022年度は、本学小平キャンパスでの実施を予定していた学校推薦型選抜（公募制）の「小論文」を中止いたします。面接はオンラインで実施し、口頭試問を行います。

### 募集人員

5名

### 出願資格

次の条件1及び2に該当する女子

1. 津田塾大学学芸学部多文化・国際協力量科への進学を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者（入学後に同学部他学科への転科ならびに他学部他学科への転部転科は認められません）
2. 次の①～③のいずれかに該当する者
  - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2022年3月卒業見込みの者
  - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2022年3月修了見込みの者
  - ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2022年3月31日までにこれに該当する見込みの者

### 【第1次選考（書類選考）】

#### 出願期間

2021年11月1日(月)～11月8日(月)（消印有効）

\*ただし、日本国外から出願される場合は締切日必着とします。

\*受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にできるだけ早く本学入試課に連絡してください。（ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。）

#### 出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) からダウンロードし、すべてA4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願用封筒表紙】をA4用紙にカラー印刷したものを市販の角形2号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送してください。出願書類以外のものは、同封しないでください。提出は郵送に限ります。大学窓口での受付は行いません。

#### 出願書類

- ・出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- ・出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。（TOEICの公式認定証は除く。）原本と指定されている出願書類を写して提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- ・出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関（高等学校、大使館等）の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校での翻訳に関する証明は認めません。
- ・一度提出された書類は返却しません。

① 志願票【様式 1】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。</li> <li>・志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。（国内の住所に限ります。）</li> <li>・銀行の収納印が押されていることを確認してください。</li> <li>・志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。</li> <li>・電話番号の欄には通信テスト日および試験当日に必ず連絡が取れる番号を記入してください。</li> </ul>
②推薦書【様式 2】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校長あるいは担任教員、教育機関関係者からの推薦書1通を提出してください。</li> <li>・本学所定用紙または別用紙でも可</li> </ul>
③調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳封されたものを提出してください。</li> <li>・卒業後の年数経過等により調査書が発行されない場合は成績証明書及び卒業証明書を提出してください。</li> <li>・高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者は合格（見込）成績証明書を提出してください。</li> </ul>
④志望理由書【様式 3】	<p>本学学芸学部多文化・国際協力学科志望理由について、1200字以内で書いてください。  ※手書き、PC（パーソナルコンピュータ）等使用のいずれでも可。  PC等を使用する場合、ページ設定は1行40字×30行、字の大きさ12ポイント前後とし、A4判1枚に出力のこと。</p>
⑤英語の能力を証明する書類	<p>以下の表「※⑤英語の能力を証明する書類について」を参照し、いずれか1つ以上を提出してください。</p>
⑥出願書類チェックリスト【様式 4】	<p>提出する書類等の提出チェック欄に○印をつけて提出してください。</p>

### ※⑤英語の能力を証明する書類について

以下の表を確認のうえ、所定の書類を提出してください。

なお、実用英語技能検定（英検）以外の試験においては、2019年4月1日以降に受験したもののみ有効です。

実施機関から本学に直送する場合は、十分に余裕をもって手続をしてください。

試験名称	提出書類と提出方法
TOEFL (*1)	<p>以下のいずれかの方法で成績証明書原本を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付（TOEFLの大学コード0371）</li> <li>・成績証明書原本を出願書類に同封（成績証明書原本の写しの提出を希望する場合は、出願前に本学入試課窓口 to 原本を提示してください。）</li> </ul>
TOEIC (*2)	<p>公式認定証原本の写しを出願書類に同封してください。</p>
IELTS (*3)	<p>以下のいずれかの方法で成績証明書原本を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付</li> <li>・成績証明書原本を出願書類に同封（成績証明書原本の写しの提出を希望する場合は、出願前に本学入試課窓口 to 原本を提示してください。）</li> </ul>
GTEC (*4)	<p>成績証明書原本を出願書類に同封してください。</p>

TEAP(4 技能) TEAP CBT	成績証明書原本を出願書類に同封してください。
実用英語技能検定 (英検) (*5)	合格証明書原本 (CSE スコアが表示されたもの) を出願書類に同封してください。

- (\*1) TOEFL iBT®は Test Date スコアのみを活用します。MyBest™ スコアは活用しません。TOEFL iBT® Special Home Edition を含みます。
- (\*2) TOEIC® Speaking&Writing のスコアのみでは受け付けません。
- (\*3) Academic Module に限ります。Computer-delivered IELTS を含みます。IELTS Indicator は含みません。
- (\*4) CBT タイプに限ります。
- (\*5) CBT、S-CBT、S-Interview を含みます。

## 入学検定料

35,000 円

振込用紙 (本学所定用紙) に必要事項を記入し銀行窓口 (ATM およびネットバンキングは不可) より「電信扱」で振り込んでください。

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、以下の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

### 入学検定料返還について

以下の 1. 入学検定料返還請求事由のいずれかに該当し、かつ 2. 手続方法により請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。

#### 1. 入学検定料返還請求事由

- (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- (2) 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。

#### 2. 手続方法

返還を希望する場合は、本学入試課 (Tel. 042-342-5120) に連絡してください。入学検定料返還申請書を送付しますので、以下の書類を2021年11月26日(金) (郵送必着) までに本学入試課宛に簡易書留で送付してください。

- (1) 入学検定料返還申請書 (所定用紙に必要事項を記入)
- (2) 入学検定料振込領収書のコピー

#### 3. 返還時期

2021年12月末 (予定)

### 被災した志願者に対する入学検定料免除について

津田塾大学では、被災地の志願者に対して進学のお機会をできる限り保障するため、被災の状況により入学検定料の免除措置をとることがあります。

入学検定料の免除措置を決定した場合には、本学公式Webサイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) を通じてお知らせしますので、確認してください。

## 選考方法

提出された書類をもとに、審査を行います。

### 第1次選考結果発表

2021年11月19日(金)

選考結果は郵送で通知します。合格者には、受験票を同封します。

**【第2次選考】** 第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。

※オンラインで実施します。

- ・試験日に面接をオンラインで行います。
- ・事前に通信環境確認のための通信テストを行います。

### 通信テスト日

2021年11月23日(火・祝)

- ・通信テストは**必ずご対応ください**。実施時刻等の詳細は、個別にお知らせします。
- ・通信テストは、試験日当日と**同じ環境(部屋、通信、機器等)で実施してください**。
- ・以下の「受験上の注意事項(通信テストを含む)」に従ってください。

### 試験日

2021年11月27日(土)

### 選考方法

面接：知識と日本語力を問います。

### 受験上の注意事項(通信テストを含む)

1. 通信テストおよび試験日当日はWeb会議システム「Zoom」を使用します。
2. ビデオ通信可能なインターネット環境を用意してください。事前に通信環境等の確認のため通信テストを行いますので必ずご対応ください。
3. 通信テストの実施時刻および試験日の時間割、接続方法等の詳細は、個別にお知らせします。
4. ビデオ通話が可能な機器(Webカメラとマイク機能のついたもの)を各自用意してください。PCとイヤホン・ヘッドホンの利用を推奨します。
5. モバイル通信をご利用になる方は、通信量制限によって通信テスト中および試験中にビデオ通話が途切れることがないように、自身の契約プラン・利用状況を事前にご確認ください。
6. 受験をする部屋は個室とし、同室に他の人が居ないようにしてください。
7. 試験日当日は事前の通信テストと**同じ環境(部屋、通信、機器等)で実施してください**。なお、特別な理由により異なる環境で行う場合は、すみやかに本学入試課(E-mail: nyushi@tsuda.ac.jp)に相談してください。
8. 通信が切れた等のトラブル時には電話で連絡を取ることがあります。志願票には通信テスト及び試験日当日に必ず連絡が取れる電話番号をご記入ください。
9. 公平な試験実施のため、通信テスト日及び試験日当日に大学は録画を行います(録画は試験内容を確認するためだけに使用し、その他の目的では使用いたしません)。ただし、受験生による撮影・録音・録画・中継行為を一切禁止します。また、試験内容についてSNS等での発信を禁止します。
10. 試験中は監督者の指示に従ってください。
11. 試験日当日に、受験生の責任ではない通信障害等が生じ、試験の続行が不可能になった場合は、当日の時間繰り下げまたは予備日(試験日翌日)に試験を実施する可能性があります。

### 入学試験実施に際しての対応について

入学試験の実施に際し、以下のような対応をとる場合がありますので、予めご了承ください。

1. 不可抗力による事故等について  
大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、新型インフルエンザを含む感染症、その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ(試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また休憩時間が設けられている試験の場合は、試験時間



を確保するために休憩時間を調整することがあります)、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験生負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

#### 2. 受験生への連絡について

上記1. の措置をとる場合の受験生への連絡は、基本的に本学公式Webサイト上で行います。

<https://www.tsuda.ac.jp/>

#### 3. 追試等について

試験当日の体調管理については十分に注意してください。追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。

#### 4. その他の注意

不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験生の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

### 不正行為について

受験の際には、すべて試験監督の指示に従ってください。以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

- 1) 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
- 2) 受験生以外の者が、受験生本人になりすまして試験を受けた場合
- 3) その他、試験の公平性を損なう行為をした場合

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

### 合格発表

2021年12月7日(火)

合否結果は郵送(速達)で学校長及び本人に通知します。

合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

### 入学手続

2021年12月20日(月)(消印有効)

上記期日までに「入学申込金(入学金相当額)」及び「学費その他の納入金」を振り込み、入学手続書類を郵送してください。

入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。

## 学費・その他の納入金（予定）

2022年度入学者の入学金・学費(授業料・施設設備費)・その他の納入金は10月初旬に決定します。

[学芸学部]

(単位：円)

学 科	入学手続時納入		10月中納入	初年度合計
英語英文学科 国際関係学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 375,000	後期 375,000	750,000
	施設設備費	前期 125,000	後期 125,000	250,000
	計	700,000	500,000	1,200,000
多文化・国際協力学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 400,000	後期 400,000	800,000
	施設設備費	前期 140,000	後期 140,000	280,000
	計	740,000	540,000	1,280,000
数 学 科 情 報 科 学 科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 415,000	後期 415,000	830,000
	施設設備費	前期 140,000	後期 140,000	280,000
	計	755,000	555,000	1,310,000

\*次年度以降の学費（授業料・施設設備費）については次のとおりです。

授業料は2年次から毎学年10,000円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2年次	760,000円	3年次	770,000円	4年次	780,000円
多文化・国際協力学科	2年次	810,000円	3年次	820,000円	4年次	830,000円
数学科、情報科学科	2年次	840,000円	3年次	850,000円	4年次	860,000円

施設設備費は2年次から毎学年3,000円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2年次	253,000円	3年次	256,000円	4年次	259,000円
多文化・国際協力学科	2年次	283,000円	3年次	286,000円	4年次	289,000円
数学科、情報科学科	2年次	283,000円	3年次	286,000円	4年次	289,000円

その他の納入金について

### ①学生教育研究災害傷害保険

「学生教育研究災害傷害保険」（賠償責任保険付）は初年度のみ納入し、保険料は4年間を通じて4,010円です。校内や通学、また課外活動中の怪我、教育実習、正課のインターンシップやフィールドワーク中の賠償責任を補償範囲としており、全員加入を実施しています。なお、任意保険として「学研災付帯学生生活総合保険」もあります。

### ②一般社団法人津田塾大学同窓会費積立金

「津田塾大学同窓会費積立金」は50,000円（終身会費）です。初年度のみ納入し、その利子は奨学金として運用されています。

<③～⑤は、該当者のみ入学後にかかる費用となります。>

### ③教育職員免許状取得を希望する場合（英語英文学科、国際関係学科、数学科、情報科学科の学生のみ対象）

介護等体験実習費11,000円、教育実習費11,000円（参考：2021年度）

### ④英語英文学科の異文化コミュニケーション専攻(異文化コミュニケーションコース、Japan Studies in Englishコース)においては、海外での学修・異文化体験を推奨します。

その場合には別途費用がかかります。費用は、滞在地、滞在期間により異なりますが、200,000～600,000円程度の交通費・滞在費・保険料が必要になることが予想されます。

⑤多文化・国際協力学科に入学した場合

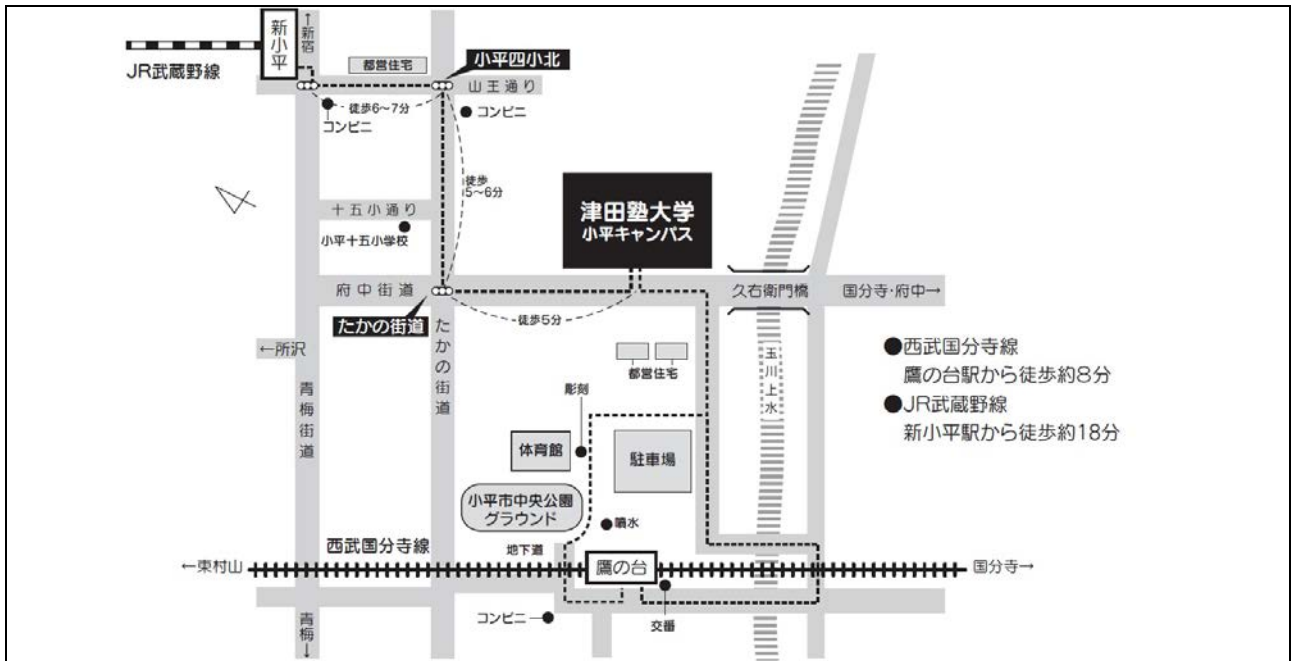
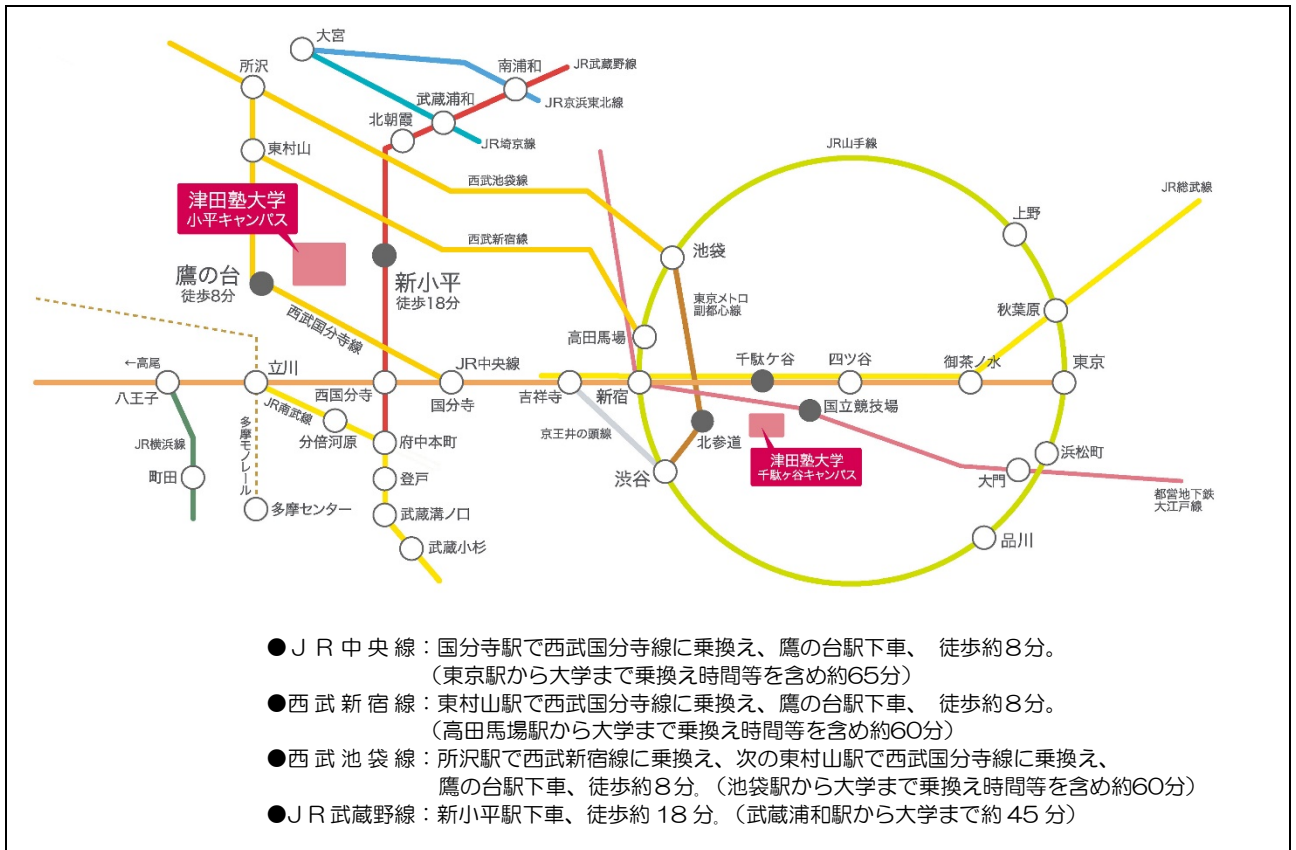
フィールドワークの費用はすべて各自が負担します。例えば、10日間くらいのフィールドワークを東南アジアで行う場合は120,000円程度、ヨーロッパで行う場合は250,000円程度の交通費・滞在費・保険料等が必要になることが予想されます。

## 個人情報の取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の取り扱いには十分な配慮をしております。今回、出願及び入学手続きにあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続きと、これらに付随する事項を行うためのみに利用します。なお、出願受付、受験票の発送、合格通知書の発送などの業務を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託することがあります。

また、入学手続き時にお知らせいただいた個人情報は「津田塾大学同窓会費積立金」に係る手続のため一般社団法人津田塾大学同窓会に提供させていただきます。

## 小平キャンパスへの交通案内



## 津田塾大学 入試課

〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1

TEL: 042-342-5120

Email: nyushi@tsuda.ac.jp

<https://www.tsuda.ac.jp/>